

令和 5 年度
第 3 回堺市堺区政策会議
議事概要

行政資料番号 1 - C 8 - 2 3 - 0 2 0 2

令和5年度 第3回堺市堺区政策会議 議事概要

開催日時：令和6年3月19日（火）午後3時30分から午後4時30分

開催場所：堺市役所地下1階 多目的室

出席者：紅谷座長、東根職務代理人、岡田構成員、亀田構成員、高岡構成員、田邊構成員
中村構成員、成山構成員、藤本構成員、山口構成員

欠席者：長田構成員

【議事要旨】

（1）堺区チャレンジプラン重点取組について

資料1『「堺区チャレンジ（Challenge）プラン」重点取組（令和6～7年度）（案）』及び資料2『「堺区チャレンジ（Challenge）プラン 2021-2025」の取組状況及び重点取組（令和6～7年）一覧（案）』の内容について確認を行った。その後、重点取組の方向性や施策についての意見交換を実施した。

○主な意見・感想

■基本方針1「郷土愛」の重点取組に関してのご意見

- ・先日、他市で特産品を使った「食」を提供するイベントが実施され、来場者数は3日間で約1万人あった。そのイベント時に地元中学校の吹奏楽部が演奏していたが、貴重な体験で郷土愛につながると思えた。
- ・堺はまだ海外の人に知られていない隠れ名所的な要素がある。歴史文化がたくさんあり、また大阪・関西万博も控えているため、何かきっかけがあればたくさんの方が訪れることになると思う。
- ・保育園でも仁徳天皇陵古墳の話の聞いたり、茶の湯体験をしたりしているが、この会議に参加して郷土愛醸成の意図があると知り、これらの取組は大切と理解した。

■基本方針2「地域活力」の重点取組に関してのご意見

- ・さかい新事業創造センター「S-Cube」内に開設された「Community room cha-shitsu（茶室）」でコミュニティーマネージャーをしており、先日堺の観光を盛り上げたいという高校生から相談を受けた。このような意欲のある若い世代の活動を後押しするような環境を整備してほしい。
- ・「ヒト巡る市場」（マルシェイベント）をザビエル公園で実施した際、学生ボランティアの募集を行ったところ26人の方に参加してもらい、約1,300人の来場者があった。学生の中には、堺の観光に興味を持っている人もおり、既存の団体と若者をつなぐことができればよいと思った。

- ・子どもを対象に様々な事業を行っているが、具体的な内容等が分からないものもあるため、広く情報を発信してほしい。
- ・堺東の商店街でのイベントでは、毎回新しい要素を加えており、直近のイベントでも、堺市ゆかりの野球チームの協力や音楽イベントを取り入れた。様々な方々が関わりを持つことで、地域コミュニティの活性化やつながりのきっかけとなっている。今後も、駅前以外のエリアにも範囲を拡大させるなど、より堺東エリアを盛り上げていくことで堺全体にも波及させたい。

■基本方針3「おもてなし」の重点取組に関してのご意見

- ・先日「おもてなしサポート講座」がモデル的に実施され、ホテル協会から7名参加した。観光ガイドの案内のもと、区内名所を巡り、体験前は堺のお土産と言えば、「包丁」ぐらいしか知識がなかったが、多くの特産品や魅力スポットを知ることができ、貴重な経験となった。
- ・各名所を巡る講座だけでなく、座学などで知識を得る機会があればより多くの方が参加しやすい。
- ・先日、堺区のSCOP（さかいコンダクターおもてなしプロジェクト）チームと銀行のCS担当者と接遇等に関しての意見交換を行った。SCOPメンバーのモチベーションが高く、主体的に参加されており、窓口の対応を変えていこうと強い思いを感じた。
- ・今年度作成された「堺区窓口対応 First Step Guide」は、他区や他自治体などでも十分活用できるものであり、銀行でも参考になる内容であった。今後もCS担当者と研修や意見交換などを通じて、窓口対応の向上につながるよう関わらせていただきたい。

■基本方針4「安全・安心」の重点取組に関してのご意見

- ・先日、堺市総合防災センターで地震体験を行ったが、いい機会となった。今後、南海トラフ地震の発生が想定されていることもあり、その備えとして、防災士資格取得講座に参加させていただきたい。
- ・在宅避難の話聞き、大切だと感じたが、災害に備えた備蓄の準備や家具の固定などすることが多く、高齢者など負担とを感じる人が多いのではと感じている。
- ・防災訓練を各校区で実施しているが、地域での温度差があると感じている。避難所に行けば物資が充実していると思っている人も多いように感じる。備蓄倉庫に入っている物資は限られていることを周知してもらい、自助の意識を高めてほしい。
- ・災害用エアーマット等を自治会で用意するがどうしても数に限りがある、避難者全員に渡すことができないので、配布時に問題が発生すると思う。震災を考慮して段ボールをある程度置いておくことが大切だと考える。避難者もお客さんとして避難する意識が高いため、意識を変えることは必要だと思う。
- ・防災について地域住民の意識を変えることは大切だと思う。沿岸地域の人が津波被害に遭われ、避難所開設が困難な場合、他校区に避難されることがあるので、地元住民の方にはそのようなことも知ってもら

必要があると思う。

- ・防災士資格取得の年齢制限の引き上げや、防犯灯 LED の更新などの施策はとても期待している。
- ・15 時頃の下校時間が子どもにとって危険と聞いたが、どの年代の子どもがいつ何時に危険かなどのデータを活用して、対策することが大事だと思う。

■その他のご意見

- ・地方創生の部署で地域の活性化の取組や自治体の窓口も担っており、官民連携・公民連携のなかで企業と自治体をつなぐことが銀行の強みであるので、企業と連携等を行いたいときは、ぜひ活用してほしい。
- ・すべての施策に通じることとして、ヒト、モノ、お金が限られているなかで、様々な取組を掛け合わせていく発想が大切だと感じた。福祉活動でも課題が多く、単独で考えていくと解決が難しい案件でも、組み合わせることで様々な可能性が広がると感じた。